



2020～2021 年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

ホルガー・クナーク

2020～2021 年度
 国際ロータリー会長

篠原 徹

2020～2021 年度
 第 2670 地区ガバナー

小松島ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 [12:30～13:30]

例会場 菊寿殿 おがわ 小松島市小松島町字外開 7-1

TEL:0885-32-0205

事務局 小松島市金磯町 10-19 TEL:0885-33-1211

**2021 年 2 月 26 日
 第 3386 回 例会記録**

会員総数	22 名
出席会員	17 名
本日出席率	77.27 %
前回出席率	68.18 %

会長報告
 (加藤好包)

・昨日は暖かく梅が咲き誇っていました。“東風吹かば にほひをこせよ 梅花 主なしとて 春を忘るな”:宇多天皇・醍醐天皇から重用されていた菅原道真は、藤原氏による謀略・讒言によって謀反の罪を着せられ、大宰府へ左遷されてしまった。「梅の花の匂いを太宰府まで送ってくれ」との歌ですが、春は好いですね。
 ・会長からバンさんに米山奨学金手渡し。



幹事報告
 (青木正廣)
委員会報告
卓話
 (笹尾会員)

・“災害時の生活用水確保のための手押しポンプ設置について”が届いています。
 ・
 2 回目の卓話です。前回に続いて“自己紹介:Part II”です。

- 会長報告で梅の花のことが話題になりましたが、出身地の長生には“明谷梅林”があります。梅の花が咲く時期には、屋台が出店し花見の宴会が行われています。
- 入会して 1 年が過ぎました。昭和 61 年に徳島相互銀行に入行して、小松島出張所に配属され見習いでした。当行が富岡無尽から徳相になったのが、昭和 26 年でしたので、小松島市と同様 70 年です。小丸島支店の 33 代支店長ですが、あと 2 年で 59 歳となりますので、小松島で始まり小松島で終える銀行勤務となりそうです。支店長としての勤務は牟岐支店から始まり支店ばかりでした。
- 長生出身なので、富岡西高校に行きました。小松島の同級生が 6 人おり、営業しましたが、取り引きしてくれたのは一人だけでした。
- 北島支店の後、洲本支店赴任し、北部の津名市を開拓したく頑張りました。地元の淡路信金等が強く、また土木・建設業が多い処でしたが、飛び込みで行った処が製造業で、社長が徳島出身、技術力が高く、給料も高い会社でした。注文を受けても納期までの時間が長い業種で



KOMATSUSHIMA ROTARY CLUB WEEKLY

した。自分で開拓できた県外で最初の取引でした。

- 次に大阪支店へ行きましたが、それは山一証券が潰れた頃、携帯電話が出始めた時代です。創業後2年ぐらいに取り引きしたベンチャー企業、伸び始めた途端に他銀行も群がりましたがその後には潰れてしまいました。自分が開拓して、自分で潰したことになったのです。新規開拓も倒産も覚えたのが大阪時代でした。
- 僕のことの話をします。結婚して29年になります。その結婚式のこと喧嘩を2回してしまいました。
- 妻とは、北島支店で知り合いました。父親が厳しく、電話も取次ぎしてくれなかったのですが、やっとのことでデートができました。その後、半身不随の父親に結婚を申し込み、結婚することができました。
- 結婚式は徳島を予定していたところ、実家が長生のスーパーで、親父の知り合いの桑野の仕出し屋が店に食事を持ってきており、それを地元のジーンズ屋が買いに来る → 家族も周りの人達も、結婚式は当然その仕出し屋でと思っていたとことで揉めました。→ 結局、徳島と桑野で2回結婚式を行いました。
- 式後の近所廻りでは、何処まで廻るかとのことでも揉めてしまいました。

